

2008 年度

科目名  文化財特殊講義 I (考古学) A	対象学科・学年 文学部文財3 回生	担当者  小田木 治太郎
授業テーマ 中国北方の青銅器文化 I		
授業の概要と目標 中国の北方には、農耕に適さない草原地帯が連なっています。中国中心部に青銅器文化が華やかだったころ、この地域にも独自の青銅器文化が行われました。いわば遊牧民の青銅器文化です。ユーラシア北方の草原ベルトを介して西アジアとも強い関連をもつこの文化は、中国の文化にも多大の影響を与えました。また、朝鮮半島や日本の初期青銅器もこの文化からの影響が絶大です。本授業ではその前半部分、主に西周時代までについて詳しく分析します。		
評価方法 学期末試験80%、出席・受講状況20%		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容  1. ユーラシアの中の中国北方地域 2. 草原地域の考古学の特質 3. 馬利用の開始 ——最古の家畜馬—— 4. 研究史「オルドス青銅器」の発見 5. 最古の北方青銅器 6. 殷代 山西・陝西、黄河兩岸の青銅器文化 7. 西周 燕山地域の青銅器文化 8. 中原地域の青銅器 (礼器) 9. 中原地域の青銅器 (武器・利器・馬具・帯金具) 10. 西周～春秋 夏家店上層文化 11. 西周～春秋 夏家店上層文化 12. ユーラシアの遊牧民諸文化 13. ユーラシアの遊牧民諸文化 14. 前期のまとめ 15. 試験		